

TAKE
FREE

アートの起源

杉本文楽

曾根崎心中

ごごごご

寤寐五靡。

今年はなにかとてんこもり

ひろしー



杉本博司を追え！の巻

08

<http://yukie5e.web.fc2.com/>

杉本博司(すぎもとひろし)氏。現代美術作家、と言っていいのでしょうか？
「写真家」としての仕事が最も有名ではありますが、ここ数年は「建築家」としても活躍されているし、以前から「コレクター」としても有名な方です。コンセプトの面白さに加え、そのあまりにも高い技術で作られた作品たちは、神々しささえ感じます。作品を見ずにいるなんてもったいない！！

杉本博司 今年の2大イベント



杉本博司 アートの起源

Hiroshi Sugimoto ORIGINS OF ART



会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川県丸亀市浜町 80-1）

1. 科学 2010年11月21日(日)－2011年2月20日(日)
2. 建築 2011年3月6日(日)－2011年5月15日(日)
3. 歴史 2011年5月29日(日)－2011年8月21日(日)
4. 宗教 2011年8月28日(日)－2011年11月6日(日)

開館時間：10:00－18:00（入館は17:30まで）

一人の作家を1年間かけて見せて行く、しかも4種類の展示を行う。こんな展覧会が今までにあったでしょうか？ずーっと高いレベルでモノを作り続け、さまざまな顔を次々と見せ続けてくれる杉本博司氏だからこそ成せる業！



最終公演

チケット入手済！

←自慢。

人形浄瑠璃文楽

『杉本文楽 木偶坊 人情曾根崎心中付り観音廻り』

でくのぼういりなさけ

つけたり

会場：神奈川芸術劇場 ホール

2011年3月23日(水)－3月27日(日) 5日間 1日2回の10公演

杉本博司氏による初の「文楽」！構成・演出・美術・映像を手がけられるそう。原文に忠実ながらも、杉本氏の独自のコンセプトにより今までになかった文楽になることは間違いない。キーワードは「闇」。

で、どうやって行く？

ビューン



東京行き

最も安い方法は「夜行バス」。最近では片道 3 千円程度からございます。が、東京に行く時はてんこもりスケジュールが基本。「眠れなかったからしんどい」なんて言ってられません。ってなわけでいつも利用するのが「東海ツアーズ」の宿泊付き新幹線のプラン！マメにチェックをしていれば、「のぞみ往復・ホテル 1 泊付き」で 2 万円ちょいからあるんです♪
今回予約したのはのぞみ往復・駅直結のホテル 1 泊付きで 20,800 円！普通に新幹線の往復するより 5,000 円以上も安い！

香川行き

♪二つを繋ぎがジャンボフェリー



京都からだとわりと近い香川。とはいえお金はかかるわけ。行き方によってのお値段比較は以下（京都⇄丸亀の往復・2 人で移動する条件）

新幹線利用 (京都・丸亀間乗車券 + 京都・岡山間特急券) × 2 = 17,240 円 4,760 円 3,860 円	
普通・快速電車のみ利用 (京都・丸亀間乗車券) × 2 = 9,520 円 4,760 円	いっしょ するネ...
高速バス利用 (京都・高松間バス往復乗車券) + (高松・丸亀間 JR 乗車券 × 2) = 9,720 円 8,640 円 540 × 2 = 1,080 円	
ジャンボフェリー利用 (京都・三ノ宮間 JR 昼トク切符 × 2) + (神戸・高松間フェリー回数券 2 枚) 660 × 2 = 1,320 円 2,950 円 + (高松・丸亀間 JR 乗車券 × 2) = 5,350 円 540 × 2 = 1,080 円	
自家用車（軽自動車）利用 ((京都南・坂出間高速料金 休日 ETC 割引) + (ガソリン)) ÷ 2 人 = 5,000 円 3,000 円 × 2 4,000 円	

自家用車が最も安い「運転しなくちゃならない」「駐車場代がかかる」「雪等で足止めをくう可能性が高い」というのがネック。そう考えるとフェリーの安さが気になってくる。のんびり本でも読みながら行こう！ということで、第一回目はフェリーで行くことに～

まずは「杉本博司」アートの起源「科学」を目指して香川へ！
三ノ宮経由なんだし「森村泰昌」なにかのレクイエム「戦場の頂上の芸術」も

京都駅	8:44 発	
↓ JR 新快速		
三ノ宮駅	9:39 着 9:45 発	660 円
↓ JR 普通		
灘駅	9:48 着	
↓ 徒歩		
兵庫県立美術館	10:05 着 12:38 発	
↓ 徒歩		
灘駅	12:51 着 12:55 発	120 円
↓ JR 普通		
三ノ宮駅	12:58 発	
↓ 徒歩		
南京町・元祖 香港釜飯屋	13:26 着 14:02 発	
↓ 徒歩		
神戸港	14:31 着 15:30 発	4枚綴りの回数券が5900円 1枚1475円
↓ ジャンボフェリー		
高松港	19:39 着 19:44 発	
↓ 無料連絡バス		
コトデン築港駅	19:57 着	
↓ 徒歩		
ホテル川六 エルステージ高松	20:08 着 20:19 発	
↓ 徒歩		
炭火焼き鳥 ひよりや	20:23 着 21:52 発	
↓ 徒歩		
ホテル川六 エルステージ高松	22:16 着	

京都三ノ宮間はJRの「昼トク切符」がお得。本来1,050円のところ660円。金券ショップなどで販売しています。もっと安くで取り扱っているところもあるそうなので探してみる価値あり。「昼トク」という名ですが、土日祝等は終日使用可能です。ちなみにジャンボフェリー内でも販売していました。

2月12日(土)



「森村泰昌 なにかのレクイエム・戦場の頂上の芸術」は4月10日まで開催しています！一般1,200円、コレクション展とのセット券だと1,500円ですが、携帯で兵庫県立美術館のHPへ行き、割引画面を提示すると100円引きに〜！森村泰昌展はなかなかの充実内容。映像の作品も多いので、少々鑑賞に時間がかかることを覚悟しておきましょう。コレクションも盛りだくさんなので、セット券を買った人はますます時間がかかります。しかし充実のコレクションなのでのんびりたっぷり楽しみましょう。イベントもいろいろ開催しているので要チェック！

おいしいお店の情報は皆無のまま南京町へランチを探しに。大きな通り沿いのお店はなんとなく高く、うさくさい感じがしちゃうので、毎度細い横道にそれて勘でお店を探します。今回入ってみたのは「元祖 香港釜飯屋」。香港にも釜飯があるんですね。同行者が頼んだ「鳥肉釜飯セット 780円」は釜飯に野菜炒めと雑菜なんかがついてこの値段。そして一口もったところ、とっても美味しい。私は「限定メニュー 980円」をオーダー。浅いどんぶりに入ったラーメンに炊茶 10コ（小龍包・ミニ肉まん・えび餃子・焼売・ちまき・鳥からあげ・えび団子・もちピロシキ・あげ餃子・ごまドーナツ）に杏仁豆腐と盛りだくさん！瓶ビール 500円と共に美味しくいただきました。

神戸・高松間、フェリーに乗っている時間は片道4時間。時間は長いがバスのようにずっと1カ所に座っていなくてもよいのが助かります。十分な広さの和室スペースでござ寝して本を読んだりうたた寝したり。海を眺めにデッキにでてみたり。結局食べてはいないけど売店で立ち食いできるうどんも気になる。男性なら大浴場にも入れるのでのんびり度アップ間違いなし。ゲーム機なんかもちろは置いてあるのでそちらも楽しめます。そして特筆すべき私のオススメは2台設置されているマッサージ機！15分100円なんですけどかなり優秀なマッサージ機です。行きも帰りも利用しちゃいました。近所なら通うね。

コトデン築港駅からも JR 高松駅からも徒歩10分ほどで行けるホテル川六エルステージ高松へ。今回が初めての利用。部屋は狭めですが清潔感がありお風呂もゆったり！それで素泊りなんと3,150円！（2人一部屋設定）大浴場もあるようなので、次はゆっくり泊まりにきたいなあと思いました。街中にあるので飲食店もコンビニも楽に行けてとっても便利でした。

なんせ周囲にお店がいっぱいなので、どこでごはんを食べるのかは悩むどころ。とりあえず讃岐名物の骨付鳥か美味しいお魚は食べておきたい！ということで、チェックをしていた「ひよりや」さんへ。初めてのお店なので美味しいかどうかドキドキしつつとりあえず注文した焼き鳥（しんぞう・つくね）が非常に美味しくご機嫌に骨付鳥のひなはこれまで食べた中でもトップレベルの美味しさ！ビールに加え、香川の日本酒「金剛」の熱燗もいただき、ココを選んだよかったと思ひました高松の夜でした。今度来た時は骨付鳥のおやを頼んでみよう。機嫌良く飲み食いして一人あたり3,100円。ありがたやありがたや。

2月13日(日)

朝ごはんはホテルでいただきました。ホテルのバイキング朝食とえば軽く1,000円を超える所が多い中、ここは630円。和洋食共に充実のラインナップに加え、ごはんは白いごはんと十六穀米の両方が楽しめ、オムレツにいたってはその場で一つずつ、シェフがその人のために焼き上げてくれるというサービスっぷり。自分で湯きりする網を使ってうどんを暖めて食べられるというのも香川ならではの楽しいところ。やっぱり少し、食べ過ぎてしまいました。

今回の旅の目的でもある「杉本博司 アートの起源 科学」へ！丸亀駅の目の前という立地に加え、とっても気持ちの良い空間をもつこの丸亀市猪熊弦一郎美術館は、15年以上の間私の最も好きな美術館です。ココに来るだけで少々心躍ります。今回は1年を通しての杉本博司氏の展示ということで、やはり、いつも以上の気合を感じる展示でした。兎に角いちいち贅沢な展示となっています。きっと東京なんかでこの展示をする人がいっぱいいたら全然楽しめないだろうなあとと思いつつ、広々としたのんびりと、作品に近づいたり離れたりを存分に楽しめました。年間パスポート2,500円を購入したので、なんとかあと3回も見に来たいと思っております。ちなみに「アートの起源サポーター」にもなりました。サポーター限定パスをGET！観覧料が20%引きになる「千客万雷カード」にも手に入れました。カードは数に限りがありますが、欲しい方はお声がけくださいませ。

せっかくの香川ですから、うどん屋には行っておきたい！ということで、丸亀駅から10分ちよい歩いたところにある丸亀市民会館内にある「白川うどん」さんへ。かけうどん小250円に好きなだけかけられるネギとショウガをたっぷり入れ、白ごまも少々かけさせていただきました。美味。さぬきっていいんですけど、まだまだ驚くほどのうどんってわけではないのですが、通いたくなる美味しさです！100円のこれでもか大きなゲソ天と瓶ビール（大）450円も幸せ度をあげてくれました。今度来た時にはかまたまとおでんってのもいいなあ。

旅のお値段
交通費 5,670 円 + 宿泊費 3,150 円 = 8,820 円 + 食費等
今回はホテルで1泊の旅にしたのでこのお値段だが、神戸24時55分のジャンボフェリーに乗り、朝の5時に高松駅着、その日の夜の高松24時55分のジャンボフェリーで帰るようにすると5,350円で1日たっぷり香川を満喫することも可能！ちなみにジャンボフェリー内には、シャワー室や2,000円で借りられる個室もある！「お金がないから行かない」なんて言ってたあなた！ちょっと行きたくなったでしょ？春の「建築」、夏の「歴史」の時期には青春18きっぷという手も！関西の皆様、杉本博司 アートの起源、決して通く展覧会ではないぞ〜

こんにちは。HAKOBAKA のハコガカ・オノユキエです。

さてさて、昨年11月より私の最もお気に入りの美術館である香川県の「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館」にて「杉本博司 アートの起源」と題する展覧会が始まりました。4回にわけて1年がかりで行う展示！ここ何年か実家にすら帰っていないというのに、年に4回も香川県丸亀市に訪れることができるのか！？32歳OLとしてあるまじき展覧会貧乏なこのお財布事情でなんとかなるものなのか！？とはいえ、どうにか、全て通ってみたいと思うのです。愛するマーク・ロスコはとうの昔に亡くなりました。敬愛なる亀倉雄策もこの世にいません。しかし杉本博司は「いる」のです。今、現在進行形の仕事を同じ時代に見ることができるこの幸運を逃すわけにはいきません！

ハコガカ・オノユキエ



まだまだいろいろ募集！

- ・「ごびごび」をうちの棚に置いとくよっという方！置いて下さい。
(四つ折り作業もするよ！という優しい方、さらに募集。)
- ・なにか手伝わせてっという方！なにかおねがいしたいと思います。
- ・フリーペーパーらしく、広告募集！お値段は要相談。
まずは生ビール1杯から。
- ・「ごびごび」の宣伝隊長募集！「こんなん知ってるう〜？」と会う人にいちいち宣伝してください。
- ・お仕事募集。イラスト描きます。デザインします。

編集・発行・企画・デザイン・イラストレーション ハコガカ オノユキエ
協力 HAKOBAKA

不定期発行・ハコガカ通信「ごびごび」

第8号 2011年2月17日